奈良新聞創刊75周年

あなたの山は大丈夫ですか?

吉野森林管理サービス　今西代表が、最新の森林管理・取り組みを語る

世界的な木材価格の高騰「ウッドショック」。ウッドショックの背景には、米国での低金利に支えられた住宅ブームや、海外からの木材輸送に使われるコンテナの不足がある。木材需要の増加や輸送費の高騰が木材価格を押し上げた。その影響は県内にも及び、輸入材の供給不足を受けて県産材も値上がりしている。しかしそれは、都市近郊部の低価格帯の木材での話であって、深い山林の奥に眠る高級木材には及んでいない。そこでは林業関係者の高齢化、後継者難が進んだ結果、山林の荒廃と不明山林の増加さらに遺産相続問題などが山積している。そんな中、吉野森林管理サービス（今西秀光代表）はこの問題解決に取り組むユニークな企業として注目を浴びている。その今西代表に現状と将来像を語ってもらった。

（聞き手は田中篤則・奈良新聞社代表取締役社）

吉野森林管理サービス代表

今西　秀光氏

ニーズに応え専用GPSの開発を

―いつからこういう事業を始められたのですか?

今西　家業としては、吉野林業特有の山守制度というのがあり、祖父の代から続いております。吉野森林管理サービスを立ち上げたのは約20年前です。元々は家業を継ぐ前は、奈良高専を出た後、神戸の大手造船所で電気技師として勤めていましたので、GPSを使ったソフト開発などは得意でした。当初は登山用のGPSを使っておりました。当時はカーナビが出てきたころで、これから普及するのかなという頃でした。林業関係者の方もGPSなんて言葉も知らない時期でした。それが「山を探してほしい」というニーズが段々と増えてきました。

―山林の遺産相続の際に、現地に行って確認していないから、段々わからなくなっていくという事ですか?

今西　生前に所在確認をされていないので、お父さんが亡くなった時には、もう所在がわからないという事です。そういう方が非常に多いですね。

もし分からなくなった場合、普通一般的に考えるのは、法務局や市町村役場で地番を基に公図（地図）を貰えれば、簡単に現地確認が出来ると思いますよね。ところが、奈良県はまだまだ潜在的な力があります。環境を守るたびだと聞いている」と言われると、村に居ない人は「はいわかりました」となりますね。よっぽどしっかりした石の杭があるとかが無い限りは、そこに居られる方の方が発言力が強いので「おじいさんの代からここ

登山用ＧＰＳとスマホ用「楽らく山ナビ」を手にする今西代表

記憶よりも記録に残す森林管理を!!

トラブルのない森林の遺産相続を

山林の境界でトラブルが発生

―成功事例としてHPに書かれていますが、山守さんがわかっている場合は良いけど、お互いがわからない場合はどうされるんですか?

今西　我々プロの目で見ての所謂、林相ですね。手入れの具合が違うとか、林齢が若干違うとか、それで見分けて「ここです」と。それで両者納得していただいて、そこにペンキを塗って、杭を打って境界を確定させます。片やずっと村に居る方で、片や何代も前に村を離れた方なら、必然的に村に居る方の方が発言力が強いのです。それを今、放置すると、もう密になって、木が太くならないです。それを適正に間伐してやると、木は太くなるんです。また十年経つと木は太くなりますので、また密になってきますから間伐する。それが幾らかの収益になります。本数は減るけれど、総資産価値としては段々増えていきます。ある程度間伐をすればいいのですが、奥地で道のない所だと、ヘリコプター集材となるので赤字になります。ヘリコプターは時間30～40万円するので、50～60年の木では赤字です。だいたい100年～120年まで育てて胸高直径が60～80センチの木で採算に乗りますが、そこまで育てるノウハウを皆さん持っていないのです。

県内はもちろん県外もカバー

―事業のエリアはどこまでですか?

今西　奈良県全域と一部三重県です。奈良県の方が三重県に結構、山林を持たれていたりするので。森林組合さんは自分のエリアがあるので、広域には動けませんが、私たちは民間なので、制限がありません。山主さん、山林を持たれている方は、吉野町だけでなく、川上村や黒滝村にもあると言った感じで、森林組合だけではカバーしきれない。私どもが「それではその山主さんの持たれている分を全部見させていただきましょう」ということになります。

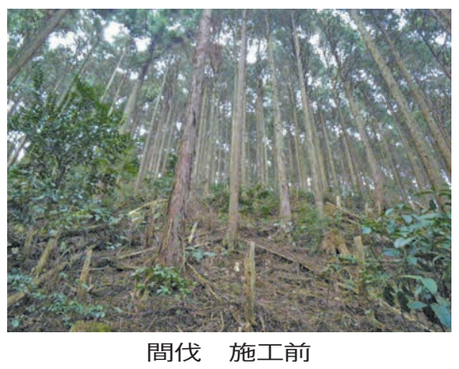
―他に同業他社というのはあるのですか?

今西　今の所、無いですね。全国的に見たら、私どものHPを見て、同業者が出てきているかも知れません。スマホを使った「楽らく山ナビ」では、和歌山県や茨城県とか九州から注文があります。

最新システムで山林継承も安心

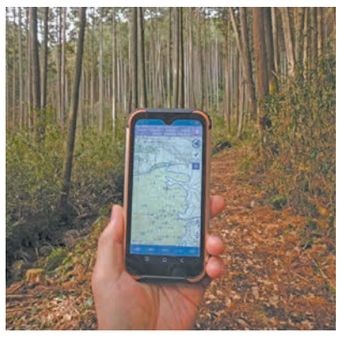
―それはどういうシステムなのですか?

今西　一般的なスマートフォンに地図表示用のアプリを入れます。次に山主さんの山の地図をパソコンで加工した専用地図をスマホに入れるとカーナビのように地図上に現在位置が表示され初めての場所でも迷うことなく目的地に行くことが出来ます。道なき道を歩いた時でも行けます。自分の山の地図を作っておけば、世代が替わっても、目的地へ行けるわけです。今までは自分の足で、教えてもらった場所に行ったんですが、今の若い人には「山が全部、一緒に見える」と言われます。



間伐　施工前

間伐　施工後



スマホ「山ナビ」

スギもヒノキも手入れされている木もない木も「みんな一緒にみえる」と言われます。ですからどこへ行っても一緒の風景なんです。我々だとこういった仕事をしているので、一回歩いただけで地形を覚えられるんですが、相続をされた方だと1回や2回歩いたぐらいでは、まずそこへ行けないです。道なき道で迷います。そのためにこれを作って、どのスマホでも使える、アンドロイドでもアイフォンでも。データさえ作っておけば、いつでもダウンロードして山へ行って息子さんやお孫さんが「うちの山はこれだね」というのはこれでわかります。何とかこれから普及させ山林管理でお困りの方のお役に立てればと思っています。

―どうもありがとうございました。

あなたの山は大丈夫ですか?

記憶よりも記録に残す森林管理を!!

山のお悩みお任せください!

父が亡くなり山林を相続したが、おおよその場所しか分からずに、困っています。山林境界を確定して、今後管理していただきたい。(吉野町)

山林を売却したいので、山林境界の確定と地図の作成及び山林の評価をしていただきたい。(奈良市)

あなたの山が「資産」でなくなる3つのポイント

一つでも当てはまればお気軽にお電話ください。しっかりとしたご提案をさせていただきます。

境界が不明になったり、場所が解らなくて、資産として活用できない。

確かな地図(記録)がないので、将来境界が分からなくなる可能性がある。

山林の手入れが悪くて、資産価値が低下している。

主な業務の流れ

測量 [あなたの山林の境界を確定します] GPS測量を使い境界の確定と山林地図(境界・保全図)の作成をします。コンパス測量に比べて簡単にできます。また一度測量すれば、何年後でも現地を確認できます。

管理・維持などのご提案 [山林を管理・維持することで資産価値を高めることができます] 山林の状況に応じた手入れの方法や造林補助金の利用をご提案いたします。山林の受託管理も承っております。詳しくはホームページをご覧ください。

専用山林地図作成 20,000円～ ＋ スマホ本体 20,000円～

まだ、紙の地図で山を探しているのですか?

楽らく山ナビ スマホでカンタン

- 山林の境界線が簡単にスマホで確認できます。
- あなた専用に山の地図(境界線)※を作成します。
- 今、お持ちのスマホにその地図を転送するだけで、楽らく山ナビに変身。
- 相続後の山林確認が簡単に出来ます。
- スマホをお持ちでない方は、当社で購入可能です。

※地籍図、森林計画図、GPS測量図などから作成します

業務内容 「山林の受託管理／山林の調査・評価／森林整備(間伐作業など)／高所特殊伐採

有資格者在籍 林業技士(林業経営)／森林評価士／測量士補／森林施業プランナー

管理エリア 近畿二府四県＋三重県!

当社ホームページもご覧ください。 吉野森林管理

吉野森林管理サービス 代表者 今西秀光 TEL.0744-46-4233 FAX.0744-49-6670 奈良県吉野郡吉野町三津62 E-mail mail@yoshino.jpn.org http://yoshino.jpn.org/yoshino/